

VI

キャリア教育・
支援

推進分野の背景と方向性

加速度的に進む技術革新や未曾有の災害等により将来の予測が極めて困難な時代において、日本社会の少子高齢化、グローバル化を背景とした雇用形態の変化などにより学生のキャリア形成も多様化してきている。このような状況に適切に対応し、自身のキャリアをしっかりと意識した学生生活を送ることができるよう、学部・学科の教育課程における低年次からのキャリア教育及び本格的な就職活動の時期をサポートするキャリア活動支援を一層充実させる。その上で、入学から卒業後に至るまでの強固なキャリア教育・支援体制を構築し、「UMEMURA VISION 2033」に示す、社会になくってはならない人材を輩出していく。併せて学生個々の状況やニーズに応えることのできるキャリア支援策を推し進めていく。



推進事項 1

低年次からの体系的な
キャリア教育・支援の拡充

多様な生き方が可能で豊かな社会、情報過多とも言われる現代において、卒業後の人生設計を立て、学生自身が主体性を持って、納得のできる進路を見出す必要がある。就職をゴールとせず、目まぐるしく変わる社会環境の変化に流されることなく、自らの意思によって将来を見据え、主体的に考えながら、自分でキャリアを切り拓いていく力を育めるよう、入学から卒業までを見通した体系的なキャリア支援体制を教職協働により構築していく。

主な施策

- 1 自らの進路を意識した大学生活を過ごすためのキャリア支援の強化
- 2 教職協働によるキャリア支援
- 3 キャリア形成科目のさらなる充実

推進事項 2

就職活動支援プログラムの
充実

急速に進むデジタル化と超スマート社会の到来、ダイバーシティとグローバル化の進展などにより雇用環境は大きく変化し、学生はその時々での社会的な背景に適応することが求められている。このような環境において、学生の就職活動を支援するためには、データベースやAI等の活用、卒業生や企業などの外部機関と積極的に連携するなど、よりきめ細やかでその時代に適した実践的な支援を行う必要がある。

主な施策

- 1 多種多様できめ細やかな就職活動支援
- 2 企業との連携強化
- 3 卒業生に対する就職活動支援

推進事項 3

多様な学生に対する
支援強化

本学は多くの学部・研究科を擁する総合大学であり、設置されている学部・研究科の学問領域の広さに比例して多様な学生が在籍している。また、学生の出身地も様々である。そのため目指す卒業後の進路も多岐にわたっており、それぞれの学生の職業観・勤労観を醸成し、主体的な進路選択が出来るようにキャリア形成・支援を強化する必要がある。具体的には、アスリート、外国人留学生、UIJターン就職を目指す学生、障がいがある学生、明確に障がいがあるとは言えないまでも様々な配慮が必要な学生などに対して、誰一人取り残すことのないような支援体制の強化を目指す。

主な施策

- 1 多様な学生に対するキャリア・就職支援
- 2 学生のニーズに即した就職支援